

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	2	3	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	0	0	ヘルパンギーナ	388	241
咽頭結膜熱	20	22	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	98	108
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	42	55	急性出血性結膜炎	2	0
感染性胃腸炎	210	249	流行性角結膜炎 (はやり目)	7	10
水痘	63	140	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	1567	1268	無菌性髄膜炎	1	2
伝染性紅斑 (りんご病)	14	65	マイコプラズマ肺炎	0	1
突発性発しん	57	52	クラミジア肺炎	0	0

**報告が多い
感染症**

- 手足口病
- ヘルパンギーナ
- 感染性胃腸炎

- 手足口病は、報告数 1567件(前週報告数 1268件)と増加。
地区別では、菊池、人吉、熊本に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の488件を最多に、幅広い年齢層から報告されている。
- ヘルパンギーナは、報告数 388件(前週報告数 241件)と増加。
地区別では、有明、菊池、宇城に報告がみられる。
年齢別では、1歳の107件を最多に、主に10~14歳以下からの報告である。
- 感染性胃腸炎は、報告数 210件(前週報告数 249件)と減少。
地区別では、山鹿、菊池、人吉、宇城に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の35件を最多に幅広い年齢層から報告されている。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性レンサ球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミ ジア 肺炎
熊本市保健所			9	20	43	19	633	2	16		123	26	2	6		1		
山鹿保健所			1		27	3	44	3	1		10	15	*	*				
菊池保健所			7	9	41	3	281	4	9		54	21		1				
阿蘇保健所					2		2						*	*				
御船保健所					8		12						*	*				
八代保健所			1	6	21	6	78	1	8		32	4						
水俣保健所			1		3		24		3		21	2	*	*				
人吉保健所				2	18	10	131		7		6	3	*	*				
有明保健所					13	8	184	1	5		69	16						
宇城保健所				2	18	8	103	2	5		35	10						
天草保健所	2		1	3	16	6	75	1	3		38	1						
計	2	0	20	42	210	63	1567	14	57	0	388	98	2	7	0	1	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5歳	6~11 ヵ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳 以上
インフルエンザ	2			1											1						
小児科定点年齢	合計	~6ヵ月	~12ヵ 月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以 上						
RSウイルス感染症	0																				
咽頭結膜熱	20		3	5	2	2	4		1	2			1								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42		1	1	1	5	6	6	6	5	3	6	2								
感染性胃腸炎	210	3	18	35	18	20	18	10	3	15	9	16	26	5	14						
水痘	63	2	2	19	11	10	6	7	1	1	3				1						
手足口病	1567	19	158	488	328	249	142	93	41	23	9	3	5	1	8						
伝染性紅斑	14			1	2	2	3	1		1	1		3								
突発性発しん	57	8	24	23	2																
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	388	4	44	107	92	54	49	21	7		3	2	4		1						
流行性耳下腺炎	98			9	14	14	15	17	10	8	5	3	2		1						
眼科定点年齢区分	合計	~6ヵ月	~12ヵ 月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以 上	
急性出血性結膜炎	2																			1	1
流行性角結膜炎	7													1	1	1	1	1	1	2	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	1			1																	
マイコプラズマ肺炎	0																				
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 感染性胃腸炎：山鹿
- 手足口病：熊本・山鹿・菊池・八代・水俣・人吉・有明・宇城・天草
- ヘルパンギーナ：熊本・菊池・八代・水俣・有明・宇城・天草
- 流行性耳下腺炎：山鹿

ヘルパンギーナ



ヘルパンギーナは、夏に流行する小児の急性ウイルス感染症で、いわゆる夏かぜの代表的疾患です。発熱とのどにできる水泡性発疹が特徴で、急な発熱で発症します。今週は、国の定める警報基準値を超えました。県内で警戒レベルを超えている地域は、熊本、菊池、八代、水俣、有明、宇城、天草の7地域です。年齢別では、4歳以下の乳幼児が9割以上を占めています。また、警戒レベルにある手足口病は、引き続き流行しています。両疾患とも患者の鼻水や唾液、便などにウイルスが存在し、回復しても数週間は、便中にウイルスが排泄されます。一般的な予防は手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することです。外出後、食事の前やトイレの後は、流水と石けんで十分に手を洗い、タオルの共用はしないようにしましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課